

各務原市

市民派市議会議員

三丸文也・杉山元則

「耐震補強」か「建て替え」かは住民投票で決めよう!

莫大な予算が必要な庁舎建設をなぜ急ぐの？
どうして耐震補強ではダメなの？

市民の皆さんからそういった疑問に思う声が聞こえてきます。しかし、今からでも建て替えを止めることは十分に可能です。今は基本構想が決まり、建て替えの方向性を決めただけで、これから設計などに3年かかりますので、その間に住民投票、市議会議員・市長選挙で計画を止めることは十分に可能です。



住民投票は有権者の50分の1の署名で住民投票条例の制定を求めることができます。各務原市の場合およそ2,400筆余の署名で実現できます。新図書館建設を白紙に戻した小牧市と殆ど同じ人口ですから、きっと各務原市でも実現できると思います。

住民投票に向けての決起大会を開催

9月3日(土)14時～ あすかホール(入場無料)

主催:市役所の耐震補強か建て替えかを問う住民投票を実現する会



小牧市

住民投票で新図書館建設計画は白紙に

山下市長の独裁的な政治姿勢が市民の批判を呼び住民投票に発展

「市民による市民のための図書館建設を実現させよう」と頑張りました

市は日頃「市民への説明責任があり、市民を大切にしたい市政運営」と言いながら、ほとんど納得できる答えが出てこない有り様のため、参加した人から「市長は直接でもFAXでも、どんな方法でも市民の声は聞きます」と言いながら、これって本当なの?」「市長は市民のためと言いながら、私たちに会おうともしない、今回の次長の対応は本当にがっかり、悲しくなる。市民をいい加減『バカ』にしている」など怒りの声が渦巻きました。(小牧の図書館を考える会ホームページより)



市民集会の様子



市内をパレードした様子

最初は女性中心の30人からスタートした運動が、猛暑の中宣伝活動を重ね、市民・市議などの協力も得て、署名数6,003筆を集める運動に発展しました。

市民の力、特に女性のパワーが市議会を動かし、市政を変えました。

小牧市、住民投票勝利までの流れ

小牧市では山下市長が市民の意見を無視し突然にツタヤ図書館建設を発表しました。これに対して疑問に思った市民が立ち上がり住民投票を求める署名活動をした結果、住民投票が実現し、投票の結果、計画に反対32,352人、計画に賛成24,981人、投票率50.38%となり、計画は白紙になりました。

平成26年 4月	新聞に「ツタヤ図書館建設」の報道がされ、山下市長の独裁的な政治姿勢が明らかに
6月	小牧市議会で図書館建設の基本設計補正予算が提案され、賛成多数で可決
8月	公募式プロポーザルでアドバイザーにツタヤを展開する企業を選定
10月	市民有志が「小牧の図書館を考える会」を立ち上げシンポジウム開催
平成27年 6月	市民団体“図書館を考える会”で住民投票を実施することを決定する
10月4日	市議会議員選挙同日実施をねらい、署名活動を7月3日～8月2日までと決定
7月	署名活動の結果、署名数6,003筆、有効署名数5,713
9月	山下市長「否決の意見書」付けて市議会に住民投票条例案提出 原案に近い修正案が可決成立し10月4日の住民投票が決まる(賛成14対反対12)
10月	住民投票の結果、計画に反対が過半数を確保
12月	指定管理、駅前建設条例廃止を市議会で可決(ツタヤ図書館が文字通り白紙へ)

各地で住民投票が行われています 平成27年度に行われた住民投票 (中日新聞より)



実施日	自治体	争点	結果
4月12日	滋賀県高島市	市庁舎の新築移転か増築か	増改築
26日	長崎県壱岐市	新庁舎の建設	反対
5月17日	大阪市	大阪都構想(政令市の廃止)	反対
31日	愛知県新城市	新市庁舎の規模縮小	賛成
8月2日	茨城県つくば市	総合運動公園の整備	反対
10月4日	愛知県小牧市	新図書館の建設計画	反対
11月22日	大阪府和泉市	市庁舎の建て替えか移転か	移転
3月20日	山梨県南アルプス市	新築移転か増改築か	増築



言論弾圧
の可能性大!

各務原市議会

政和クラブ(津田忠孝議員)、市議会公明党(横山富士雄議員)が「志政かかみの通信」の調査が必要と発言

6月市議会で政和クラブ・池戸一成議員から志政かかみの通信について一般質問されて、市は「通信の内容に誤りがある」と答弁しました。又、庁舎建設特別委員会でも「調査が必要」と提案され、特別委員会で杉山元則が調査を受けました。議論の中から2点を取り上げます。

①熊谷市役所は耐震補強を実施しましたがコンクリート寿命について65年だが劣化対策をすると寿命が延びるといった情報があります。本市ではこのような事は可能なのでしょうか?

【志政かかみの主張】各務原市は「コンクリート寿命65年説」を建て替えの前提としていますが、コンクリート寿命について熊谷市耐震化の検討結果報告書は65年以上使用可能と記載されています。また、文部科学省の手引きには75年以上使用可能と記載されています。

市内の小学校校舎は65年以上使用する予定で、愛知県庁は築78年、名古屋市役所は築83年です。

②松坂市役所の耐震化は33億円を見込んでいたものが4億円で完成できたという情報がありますがそのように安くできる耐震化は本市でも可能なのでしょうか?

【志政かかみの主張】松坂市では建設業者に耐震補強の提案をしてもらい庁舎に合った耐震方法を選択しました。本市でも松坂市のように検討をすれば良いアイデアがでるはずですが。

※7月15日に特別委員会で調査を受けましたが、質問した議員の調査不足が明らかになりました。議員として当然の活動に、調査をするなどの圧力をかける事は市議会の異常さを表しています。

各務原市議会 志政かかみの(杉山元則 ☎058-383-2900、三丸文也 ☎0586-89-2933)
フェイスブック <https://www.facebook.com/shiseikakamino>